

県内最大規模の自転車レース 岩手きたかみ夏油高原ヒルクライム2017

夏油高原ヒルクライムは1日・2日、夏油高原スキー場などで行われました。今回で7回目を迎える同大会。参加者は800人を超えました。これは県内で行われる自転車レースとしては最大規模で年を追うごとに参加者も増え盛り上がりを増しています。自転車競技を始めた年から4年連続で同大会に参加しているという武田博志さん(37歳・盛岡市)は「たくさんの方が参加し盛りあがっていて毎年参加している。最高です」と話していました。

夏油高原スキー場のゴール付近で競り合う参加者



映写機を使った講師の操作実演に熱心に聞き入る受講者

16ミリ映写機の操作を学ぶ 平成29年度16ミリ映写機操作技術講習会

16ミリ映写機操作技術講習会は1日、中央図書館で開催されました。同会は16ミリ映写機操作の基本と実技について講習を行い、16ミリ映画フィルムに適度な取り扱いと利用促進を図るものです。講習後にはテストを実施。合格者には修了証が授与され、県内の視聴覚ライブラリーで映写機を借り、利用することが可能になります。大友義人さん(飯豊)は「修了証をもらって、地域の交通安全の啓発活動や、高齢者の生涯学習に映写機を活用したい」と話していました。

仲間と楽しく健康維持

第11回北上地区いきいきシニアスポーツ大会

北上地区いきいきシニアスポーツ大会は5日、北上陸上競技場で開催されました。同大会は高齢者の健康保持と相互の親睦を深め、活力に満ちた長寿社会の形成をめざし毎年開催されています。今大会には選手約550人が参加。地区ごとにチームに別れ、ボール送りやゲートボールリレーなどを競いました。

2年ぶりに参加したという深田紀子さん(立花)は「順位ではなく参加することが目標。みんなでケガなく楽しく過ごしたい」と話していました。

各地区対抗のボール送りでは熱戦が繰り広げられました



キャンペーンレディに決定した及川さん(左)と五十公野さん(右)

市のPR活動に花を添える きたかみキャンペーンレディ決定

きたかみキャンペーンレディ選考会は1日、北上商工会館で行われ、及川優奈さん(和賀町岩崎)と五十公野ちえみさん(鍛冶町)が選ばれました。審査のポイントは北上に対する想いや知識など5項目。任期は1年間で、北上の観光イベントや市内外で北上のPR活動を行っていきます。及川さんは「北上のいいところをたくさん発信していきたい」と、五十公野さんは「これからの活動がとても楽しみ。農産物などをPRしたい」と今後の抱負を話していました。

1週間の合宿を終える 日本体育大学「集団行動」in 北上

日本体育大学「集団行動」in北上は6月24日から30日まで、北上総合体育館などで行われました。同大学の学生と監督・コーチ106人が市を訪れ、合宿の様子を一般公開したほか、市内の児童・園児向けの体験学習なども開催。見学には延べ9,000人を超える人が訪れ、一糸乱れぬ演技に見入っていました。黒沢尻体育館での集団行動を見学した中野颯人さん(黒沢尻西小6年)は、「全国レベルの演技を間近に見ることができた。団結力が大切だと思った」と話していました。

6月29日の午後は黒沢尻体育館で行われ、黒沢尻西小学校の児童が見学しました



ユーモアを交え、耳を傾ける人たちに熱こもった講演を行った増岡さん
「みつけの達人ぞろい」
声優 増岡 弘 氏
共同参画

言葉を大切に

平成29年度北上市男女共同参画フォーラム

平成29年度北上市男女共同参画フォーラムは8日、日本現代詩歌文学館で開催されました。同フォーラムは男女共同参画社会の実現に向け隔年で開催。県知事認定の男女共同参画サポーターによる寸劇が行われたあと、マスオさんの声でおなじみの声優の増岡弘さんが「サザエさん一家は幸福みつけの達人ぞろい マスオ流 男女共同参画」と題し講演を行いました。増岡さんは「言葉は心が作り出す。良い言葉を使えば良い生活になる」と言葉の大切さを伝えていました。

実験を通しエネルギーを学ぶ きたかみこども環境未来塾

きたかみこども環境未来塾は15日、市民交流プラザで開催されました。エネルギー環境人材の育成を目的に、昨年度から小学生対象の科学工作教室を市が開催。親子約65人が参加し、岩手大学理工学部の高木浩一教授による手回し発電機を使った実験などでエネルギーに関する知識を深めた後、振動ゴキブリを作製しました。参加した松平花音さん(南小・1年)は「振動ゴキブリが上手にできた。工作に絵を描いたのが楽しかった」と話していました。

熱心に振動ゴキブリを作製する参加者



民俗村の会場にはたくさんの人が集い、各団体の語りを楽しんでいました

民俗村で昔語り

第2回いわて民話まつり in 北上

いわて民話まつりin北上は6月24日、みちのく民俗村で開催されました。地域で語りの活動をしている団体が集い、伝承文化として昔話を再認識する機会として昨年から開催。北上しらゆり大使の加藤ゆりいさんが所属するふるさと北上民話研究会など市や周辺地域の7団体が方言で語りをを行い、訪れた人々を魅了していました。友人の口演を聞きに来たという高橋ミヨさん(鬼柳町)は、「観客が多くてとてもにぎわっていて良かった」と話していました。